

三越伊勢丹ホールディングス

■2021年4月から収益認識基準の適用がスタートしていますが、売上速報・売上確報で開示する国内百貨店事業の売上につきましては従来と同様に売上高で開示いたします。

店名	前年比	2022年度計
伊勢丹新宿本店 ※	116.3%	130.6%
三越日本橋本店 ※	108.6%	120.9%
三越銀座店	123.0%	134.8%
伊勢丹立川店	99.1%	109.3%
伊勢丹浦和店	101.4%	105.8%

※三越日本橋本店売上には、小型店舗の売上を含みます。

会社名	前年比	2022年度計
札幌丸井三越	108.0%	116.1%
函館丸井今井	100.6%	102.2%
仙台三越	100.1%	104.3%
新潟三越伊勢丹	92.9%	102.4%
静岡伊勢丹	99.2%	103.7%
名古屋三越	98.9%	102.4%
広島三越	93.3%	101.5%
高松三越	98.4%	104.2%
松山三越	86.1%	104.8%
岩田屋三越	101.6%	113.3%

	前年比	2022年度計
三越伊勢丹 計 (①)	113.3%	125.8%

	前年比	2022年度計
国内グループ百貨店 計 (②)	100.2%	108.0%

	前年比	2022年度計
国内百貨店 計 (①+②)	108.1%	118.7%

	伊勢丹新宿本店		三越日本橋本店		三越銀座店		3店計		三越伊勢丹計		国内百貨店計	
	12月	年度計	12月	年度計	12月	年度計	12月	年度計	12月	年度計	12月	年度計
紳士服・洋品	117.0	130.3	97.1	120.8	126.0	147.5	115.0	130.1	112.8	127.9	108.4	122.2
婦人服・洋品	122.9	141.6	115.9	128.7	123.1	140.9	121.7	139.2	119.6	135.7	111.2	124.9
子供服・洋品	119.0	121.5	86.4	118.1	141.0	136.3	111.6	121.5	108.0	116.6	102.8	109.2
呉服寝具他	97.7	109.7	116.4	117.7	109.1	115.7	102.0	111.9	101.7	109.0	97.0	103.8
衣料品計	119.4	134.7	108.1	124.8	124.3	141.1	118.0	133.6	115.6	130.2	109.2	121.9
身廻り品	117.6	141.7	123.2	137.1	137.7	153.5	122.9	142.6	120.1	138.0	116.0	129.9
雑 貨	121.4	134.6	120.8	137.6	128.1	140.6	122.4	136.3	120.6	133.9	114.1	125.8
家具インテリア	110.6	118.8	101.9	111.6	205.1	107.3	110.5	116.2	108.6	114.7	108.0	110.2
家 電	101.3	81.3	53.1	49.2	109.5	109.5	101.0	80.8	101.0	80.8	99.2	79.7
家庭用品	101.8	107.3	90.8	114.8	114.3	137.5	98.1	113.8	97.2	112.2	94.3	107.7
家庭用品計	105.1	108.8	92.9	113.9	121.9	133.8	101.7	112.6	100.6	111.3	98.2	107.5
食 料 品	104.1	109.6	101.3	104.6	107.5	113.7	103.4	108.3	103.0	107.2	100.6	104.7
食堂・喫茶	114.6	154.7	109.9	147.5	146.7	152.2	114.2	153.4	109.7	142.4	108.6	135.1
サービス	359.6	284.6	129.9	145.7	108.8	117.6	308.0	250.1	271.0	225.8	229.8	199.8
その他	40.1	90.5	98.7	106.4	109.9	107.3	76.5	101.8	77.3	102.6	86.8	101.3
合 計	116.3	130.6	108.6	120.9	123.0	134.8	115.1	128.5	113.3	125.8	108.1	118.7
営業日数	31	275	31	275	31	275	—	—	—	—	—	—

- 首都圏三越伊勢丹を中心に引き続き付加価値の高い商品の売上が牽引し、売上前年比は(株)三越伊勢丹計で113.3%、国内百貨店計で108.1%であった。伊勢丹新宿本店は2022年4月以降、9ヵ月連続で2018年を上回る実績で推移をしている。
- クリスマスや年末のオケージンニーズも高く、ハンドバッグや宝飾、和洋菓子等が売上を押し上げた。また、伊勢丹新宿本店では、好調な冬物に加えて、ラグジュアリーブランドやデザイナーズブランドを中心に春の新作が好調に推移。独自性の高いイベントも継続して売上を支えている。
- 免税売上は10月の入国制限の緩和以降、首都圏店舗を中心に回復傾向が続き、非免税売上と同様にラグジュアリーブランドのハンドバッグや衣料品、宝飾時計を中心に高付加価値なアイテムへの関心が高い。

○ 15日までの店頭売上累計は、ラグジュアリーブランドやデザイナーズブランド、宝飾などの高付加価値商品が好調を維持。特に、伊勢丹新宿本店、三越日本橋本店の売上は好調に推移した。また、免税売上も先月までと同様に堅調に推移。引き続き高付加価値なアイテムへの関心が見られる。なお、首都圏三越伊勢丹では121.9%、国内百貨店計では116.3%と前年実績を大きく上回った。

【三越伊勢丹ホールディングス 広報担当】 TEL：090-1704-0684 ※2022年7月26日より変更いたしました
【三越伊勢丹ホールディングス IR担当】 TEL：090-8593-0515/080-7577-7640/090-8593-0298